

公共事業等施行状況調（令和4年3月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (3月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		3年度 C	C/A	2年度 D	D/B	
		3年度	2年度	3年度 A	2年度 B					
1	治山・治水	33,493	34,620	22,705	22,700	17,036	75.0	15,643	79.9	
2	農林・水産	42,145	42,068	32,269	32,539	22,276	69.0	23,159	79.3	
3	道 路	70,606	75,779	48,124	51,346	39,593	82.3	34,545	92.0	
4	港湾・空港	8,521	8,800	4,451	5,199	3,801	85.4	3,813	72.2	
5	下水道・公園	9,928	8,884	2,548	2,547	2,326	91.3	2,387	87.8	
6	住 宅	1,802	2,091	1,373	1,684	1,294	94.2	1,396	82.0	
7	庁 舎	3,514	1,444	3,249	1,332	2,059	63.4	914	73.4	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	21,159	20,030	17,297	14,916	8,575	49.6	4,589	33.8	
11	工業用水・上水道等	987	905	106	89	104	98.1	85	91.0	
12	災害復旧	1,844	414	1,788	336	1,276	71.4	127	96.2	
13	その他	8,742	11,933	6,251	8,600	5,348	85.6	7,373	79.6	
	計	202,741	206,968	140,161	141,287	103,688	74.0	94,031	78.6	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年3月末）

（単位：社、件、百万円、％）

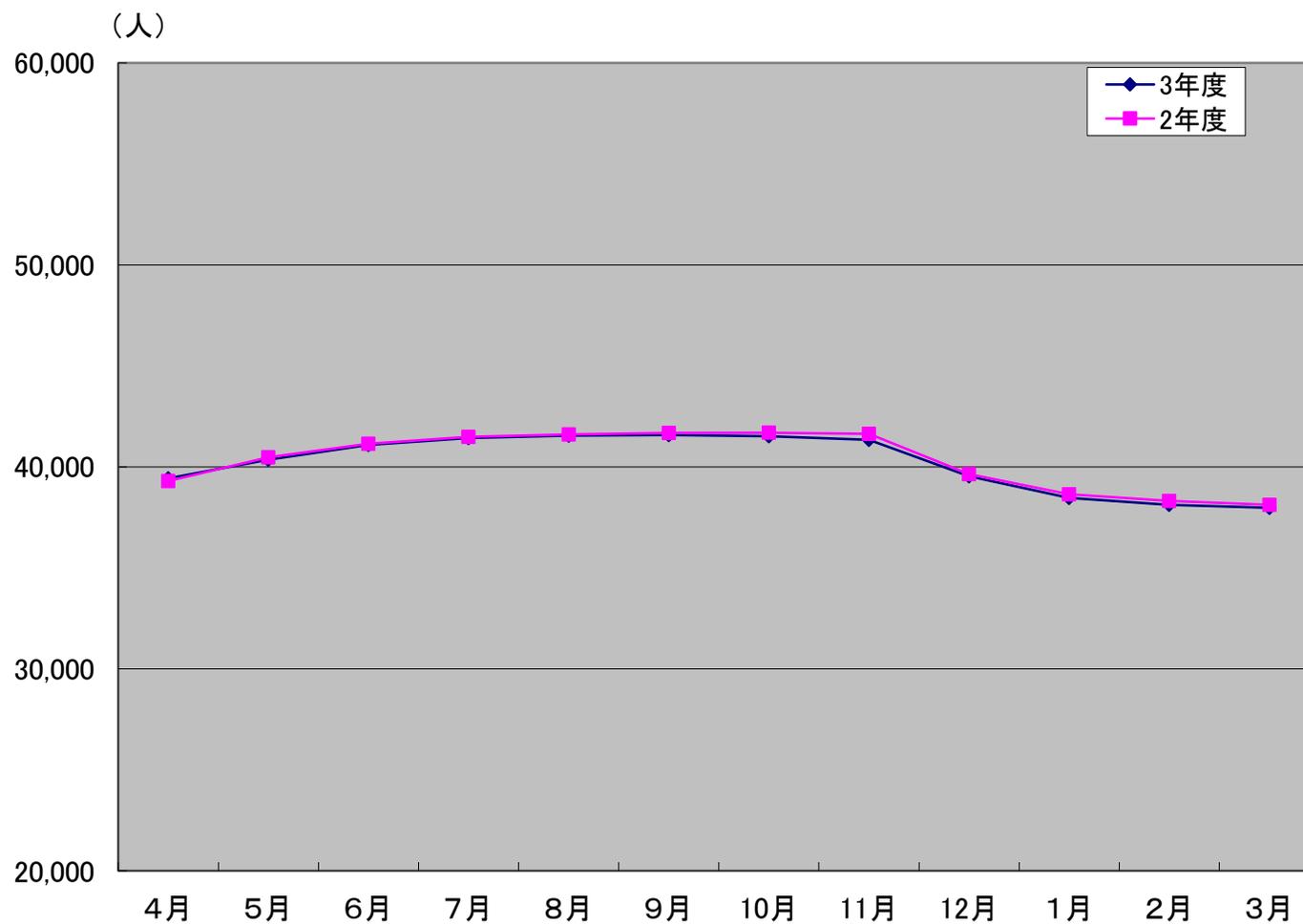
事項	予算措置額		発注実績											
	(A)		合計 (B)			県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)		
区分	事業費	本工事費	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額
3年度	202,741	140,161	32,864	3,507	103,861	32,200	3,377	92,332	584	107	5,575	80	23	5,954
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					74.1	98.0	96.3	88.9	1.8	3.1	5.4	0.2	0.7	5.7
前年度比	98.0	99.2	104.5	109.6	110.5	104.7	109.7	111.9	98.5	121.6	135.0	65.6	65.7	80.6
2年度	206,968	141,287	31,460	3,201	94,031	30,745	3,078	82,511	593	88	4,131	122	35	7,390
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					66.6	97.7	96.2	87.7	1.9	2.7	4.4	0.4	1.1	7.9

被保険者数

	3年度	2年度
4月	39,424	39,303
5月	40,359	40,467
6月	41,085	41,148
7月	41,421	41,492
8月	41,541	41,611
9月	41,577	41,687
10月	41,516	41,689
11月	41,333	41,636
12月	39,528	39,646
1月	38,465	38,642
2月	38,115	38,307
3月	37,973	38,119

前月末被保険者数	38,115
資格取得者数	487
資格喪失者数	635
転入者数	7
転出者数	1
今月末被保険者数	37,973

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)3月末



建設資材の需給・価格動向調査 (4年4月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落										
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の2月の販売量は1万7千トン(セメント協会調べ)で前年同月比19.9%の減。メーカー各社は、昨年末以降2,000円以上の値上げを相次いで表明。主たる需要家の生コンメーカーは採算悪化を懸念し抵抗してきたが、メーカーの強腰での販売姿勢を受け、値上げの受け入れは避けられないとする向きも増えつつある。一部の需要家は値上げを受け入れるなど、交渉は大詰めに近づいている。目先、強含みの公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			道路工事に伴い、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや減少している。原材料のセメント、骨材の値上げが表明されていることから、メーカー各社は昨年10月の値上げの未転嫁分の浸透を目指して交渉を継続している。しかし、需要家はさらなる値上げ受け入れに難色を示している。需要環境好転は期待薄で、交渉進展には時間を要するとの見方が強い。先行き、横ばい推移の公算大。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の3月の出荷量は3万6千m3(生コン工組調べ)で前年同月比27.1%の減。県内全体の生コンの需要が低調に推移している。セメントや骨材などの値上げ要請があるなか、メーカー各社は、原材料および輸送コスト増加による採算悪化回避のため、4月から1,000円以上の値上げを表明している。メーカー各社のこうした動きに、需要家は理解を示しつつも慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○			生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。メーカー各社は運転手不足や燃料油高が輸送コストを押し上げているとして、値上げを打ち出している。多くの需要家は値上げの受け入れには慎重な姿勢だが、安定調達を優先し値上げに理解を示す向きも見られはじめた。今後、両者の歩み寄りがさらに進むとみられ、先行き、強含みの見通し。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり112,000円と前月比9,000円の上伸。原料である鉄スクラップの大幅な価格上昇に加え、電力料金や副資材価格なども上昇。これらを受け、採算悪化に対する危機感を強めたメーカー各社は相次いで販売価格を大幅に引き上げた。需要家は急激な値上げに難色を示したが、流通筋も売り腰を強めたことで値上げ額の一部が浸透した。流通筋は、未達分の早期浸透に向けて今後も強い販売姿勢を維持する構え。目先、強含みの公算大。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			2月の県内出荷量は5万4千トン(合材協会調べ)で前年同期比2.0%の減。メーカー各社はスタアス価格の上昇や輸送コストの増加を理由に値上げを表明。各社が粘り強く交渉を続けたことで、値上げ額の一部が浸透した。スタアス価格の上昇が続くなか、メーカー各社は交渉を継続する構えだが、需要家の抵抗は強い。目先、横ばいの公算大。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり124,000円と前月比変わらず。2月の県内新設住宅着工戸数は212戸で前年同月比27.1%の減少(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比20%の減少、貸家が同183.3%の増加などとなっている。前月は輸入木材の入荷回復を背景に反落したが、ロシアとの関係悪化によるロシア産木材の調達懸念から、代替の引き合い増加で下げ止まりとなった。流通筋では、昨年度のウッドショックによる記録的な高騰後、記録的な円安が進む状況下、輸入木材の調達難による国産材の値上がりに対する警戒感が高まっている。目先、横ばい推移。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり123円、重油はローリー渡りで84円とともに前月比変わらず。ウクライナ情勢をめぐる各国の動向や新型コロナウイルスの感染拡大などの影響で原油相場は乱高下。これを受け元売り各社の仕切価格も上下したが、燃料油価格激変緩和対策の効果もあり小幅な値動きにとどまったため、末端の販売価格に変動はなかった。主要産油国が追加増産に慎重姿勢を崩さないことで原油価格は強含むとの見方が一方、石油備蓄の協調放出など下落要因も存在。目先、横ばいの見込み。
型枠合板			○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,900円と前月比50円の上伸。15カ月連続で値上がりした。現地の雨季や新型コロナウイルス感染症による労働者不足により製品入荷量は回復せず、市中在庫量は依然として低水準で推移。原木や接着剤などの高騰により現地価格はさらに上昇し、流通筋は仕入れ価格上昇分を販売価格に反映する姿勢を継続している。現地メーカーの資材倉庫火災などの不安要素絡み、今後も入荷量が回復する見込みは薄い。目先、強含みの見通し。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり120,000円と前月比5,000円の上伸。原料や副資材の価格上昇などによる製造コスト増加を背景に、メーカー各社は販売価格を大幅に引き上げた。仕入れ高による採算悪化に危機感を強めた流通筋が強い売り腰で交渉に臨み、値上げ額の一部が浸透した。需要面では、中小建築物の低迷から今後も盛り上がりは欠く商況が続くと予測される。しかし、メーカー各社が追加値上げを示唆するなか、流通筋は販売姿勢を一層強めていく構え。目先、強含みの公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (4年4月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)							
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,133	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	0.0	3,467	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	136,000	3.8	136,000	3.8	136,000	3.8	136,000	3.8	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	112,000	8.7	112,000	8.7	112,000	8.7	112,000	8.7	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	103,000	1.0	103,000	1.0	103,000	1.0	103,000	1.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	13,100	2.3	13,400	2.3	12,800	0.8	13,100	1.8	131,000円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	124,000	0.0	124,000	0.0	124,000	0.0	124,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	123.0	0.0	123.0	0.0	123.0	0.0	123.0	0.0	123,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	84.0	0.0	84.0	0.0	84.0	0.0	84.0	0.0	84,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,900	2.7	1,900	2.7	1,900	2.7	1,900	2.7	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	120,000	4.3	120,000	4.3	120,000	4.3	120,000	4.3	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

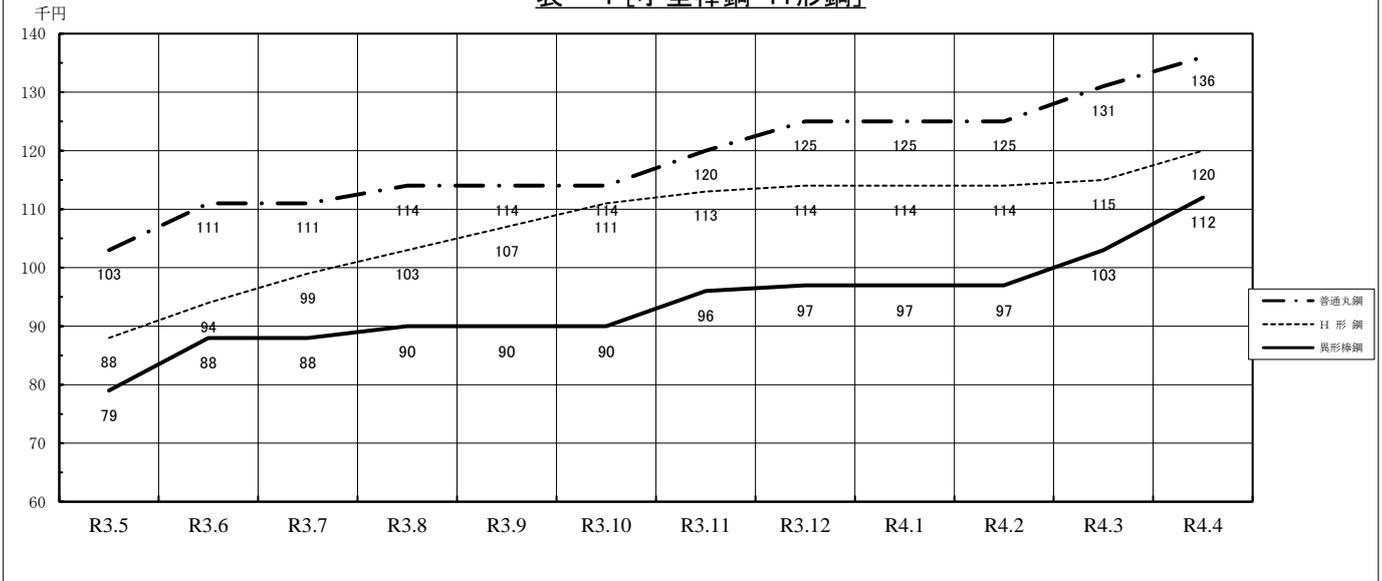


表-2 [セメント・生コン]

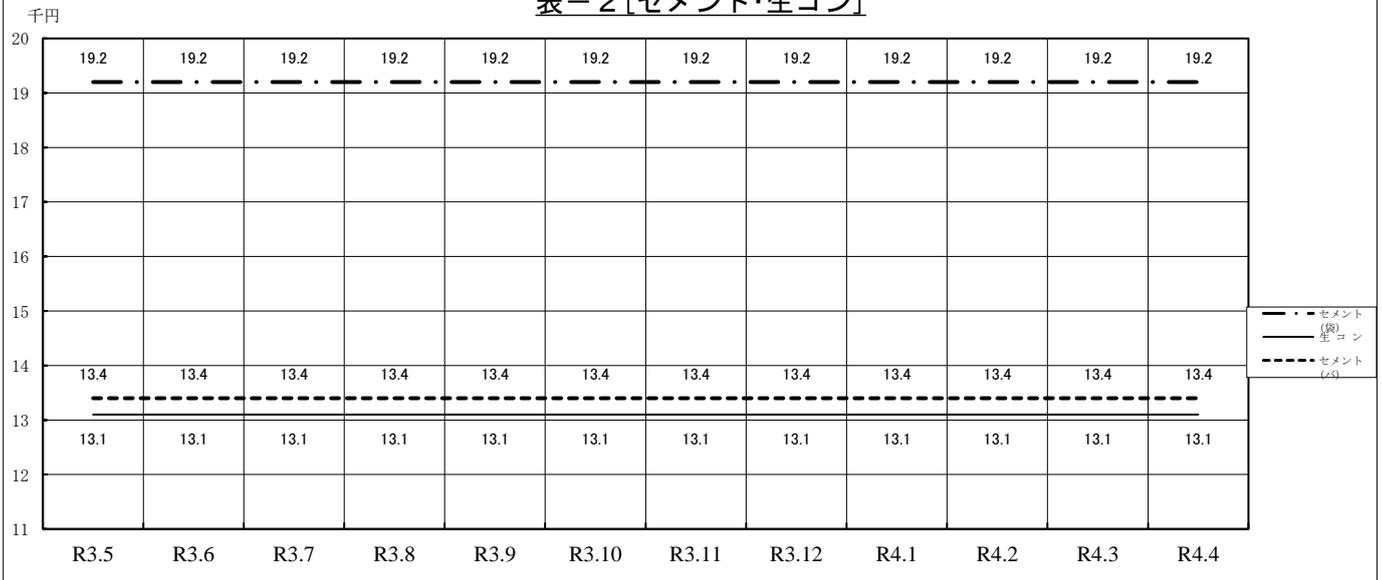
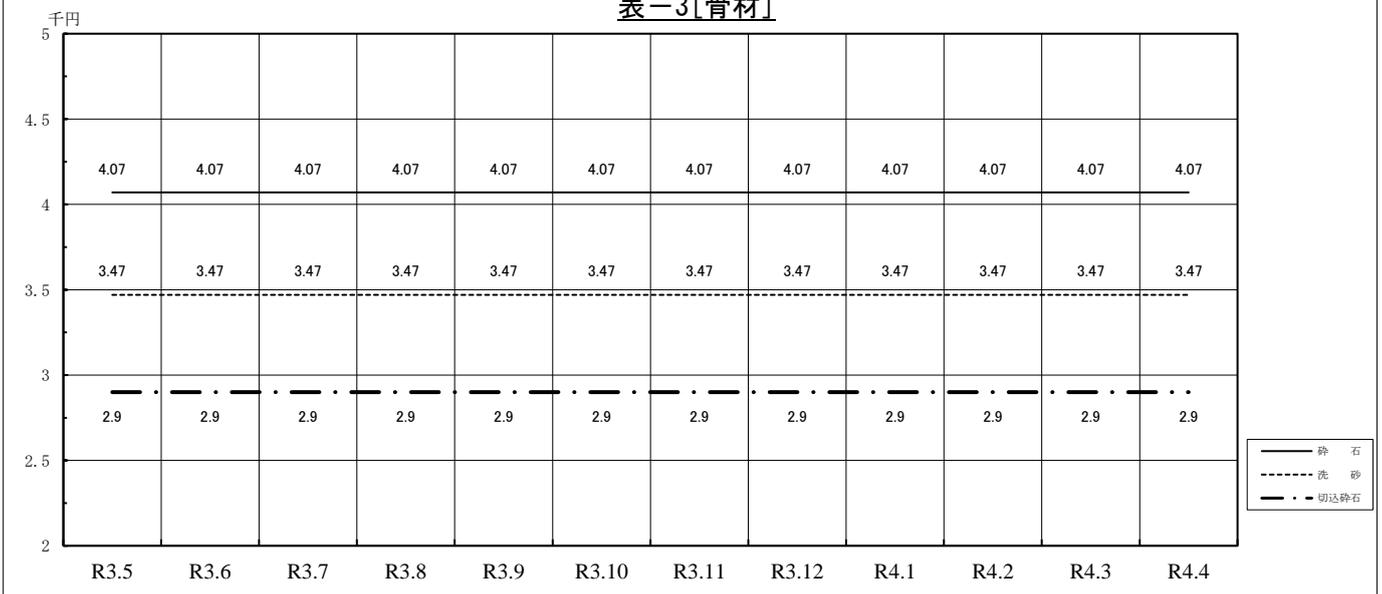


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

